

【参考】意思決定プロセスでの若者参画に向けた取り組み

第1回「気候変動政策への若者世代・将来世代の意見反映方法」勉強会

「熟議の場づくり」
～フューチャーデザインについて～

ご講演：西條展

日時：7月9日（日）

参加方法：応募フォーム

エネルギーの大前提を考え直す！

S + 3E + ? 公開勉強会

9月3日（火） 14:00～16:50

会場：衆議院第一議員会館 1階 多目的ホール
国会議事堂前駅より徒歩5分

講師：江守正多（東京大学名誉教授）、伊川晴貴（同志社大学経済学教授）、馬上文司（環境エネルギー政策研究所）

主催：日本若者協議会

第2回「気候変動政策への若者世代・将来世代の意見反映方法」勉強会

「政治における若者参画から主導へ」

ご講演：宇佐美誠氏

日時：8月4日（金）17時～18時30分

参加方法：Peatixフォームに回答

主催：日本若者協議会環境委員会

公開勉強会の開催

幅広く参加者を募り、気候変動・エネルギー分野の政策に関する勉強会を開催。専門家・国会議員・行政職員・メディア・一般参加者などが参加。



省庁との意見交換会

多様なアクターとの意見交換を実施。特に、定期的に資源エネルギー庁との意見交換会に参加している。他若者団体とともに、エネルギー政策の方向性、意思決定のあり方などについて意見交換を行ってきた。

地球沸騰化の危機！次期エネルギー基本計画を議論する有識者会議に若者を入れてください&気候市民会議を開催してください！

次期エネルギー基本計画を議論する有識者会議に若者を入れてください！
&
気候市民会議を開催してください！

地球沸騰化の危機！
こども基本法！
THERE IS NO PLANET B

開始日：2023年10月20日
署名の领先：岸田文雄（内閣総理大臣）と9人の別の领先

この署名で変えたいこと

署名の発信者：一般社団法人日本若者協議会

7,039 賛同 / 7,500 次の目標

👥 今週は55人が賛同しました

今すぐ賛同

姓：

名：

Eメールアドレス：

Matsuyama, 156-0041
日本

若者委員参加を求める署名

気候変動等に取り組む若者団体が共同し、エネルギー政策の意思決定に対する若者の参加を求めるキャンペーンを行い、様々なアクターとの議論を交わした。

気候変動・エネルギー政策に対する提言

1. 次期衆議院議員選挙の公約にて、1.5°C目標を掲げることを求める。
2. 気候変動対策の目標として、2050年CNではなく、1.5°C目標を掲げるように地球温暖化対策推進法を改正することを求める。
3. 各国の排出能力を踏まえた日本の残余カーボンバジェットから逆算し、日本の2035年度NDCを2013年度比78%とすることを求める。
4. 各省令において、「学識経験のある者」だけでなく、若者を含めた「当事者」が審議会に委員として参加すべきことを記述することを求める。
5. 日本政府による気候市民会議を開催することを求める。

1.5°C目標に沿ったNDCの設定とそれに基づいたエネルギー基本計画の策定

カーボンバジェットから逆算して
NDCを策定

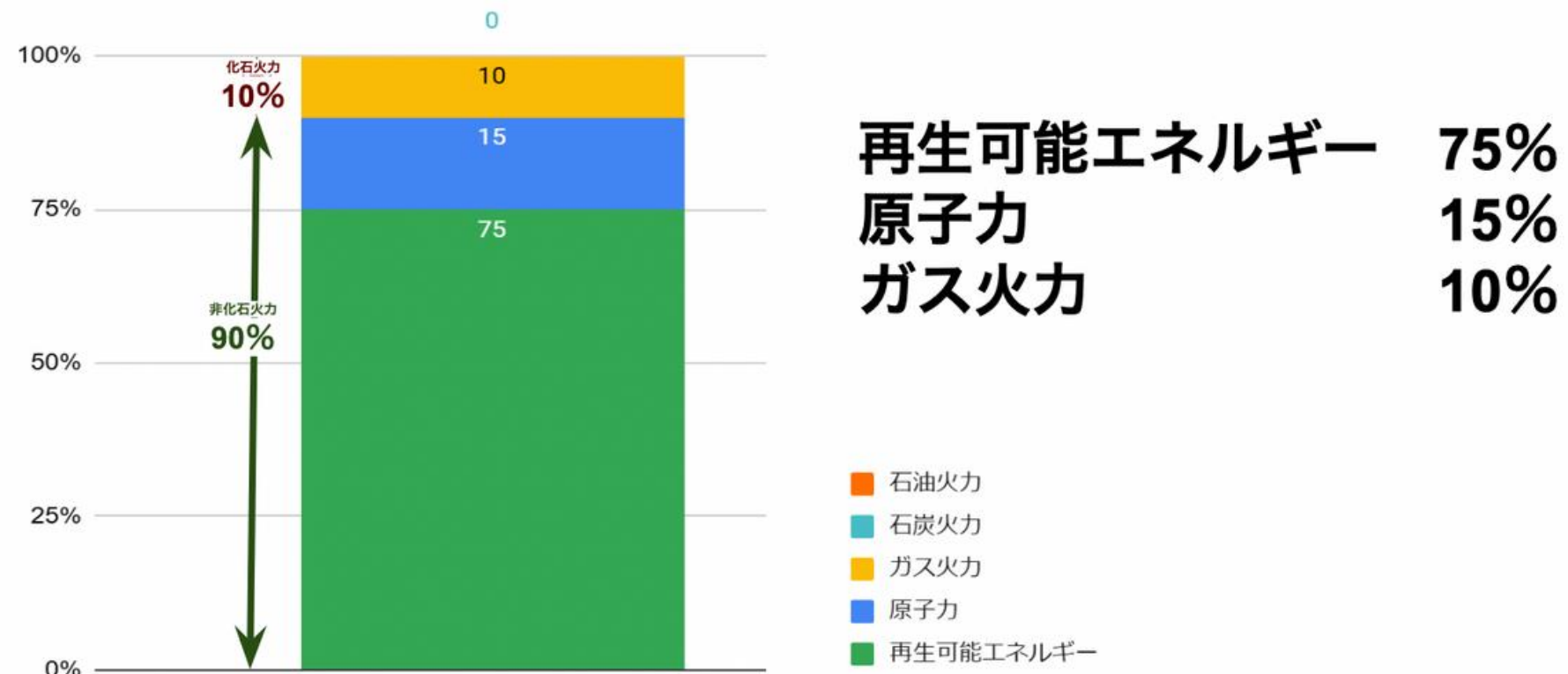
2035年日本のNDC

78% (2013年度比)

2040年日本のNDC

88% (2013年度比)

2035年 エネルギー基本計画



気候変動の解決には1.5°C目標に沿ったNDC設定は必要不可欠

- そのためにはカーボンバジェットから逆算して、NDCを設定することが重要
- 現行の「2030年度においてGHG 46%削減（2013年度比）を目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦する」は1.5°C整合と比較して不十分である

S+3E+αを最大限実現するため、積極的な気候変動対策を実施すべきである

- 積極的な気候変動対策の実現＝将来世代の利益実現
- 再生可能エネルギーのポテンシャルを最大限に生かす
 - 再生可能エネルギーの立地や電力供給の予見性が高まることで、産業の創出や誘致につながる
 - 化石燃料依存の低減による、貿易収支の改善、安定供給の実現など